

## 2022年6月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総売上高）で開示しております。

### 〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
(株)高島屋 計 <sup>※1</sup>	+11.7	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+10.8

### 〔店舗・事業部別 概況〕

		(前年比 単位:%)			
	売上高	入店客数			
大阪店	+9.8	+33.3	大宮店	+2.8	+4.7
堺店	△3.8	+7.8	柏店 <sup>※2</sup>	+1.1	+5.2
京都店 <sup>※2</sup>	+11.7	+10.4	(株)高島屋 各店計	+13.5	+11.7
泉北店	△2.8	△15.4	岡山高島屋	+13.5	+17.7
日本橋店	+12.4	+18.5	岐阜高島屋	△18.6	△2.3
横浜店 <sup>※2</sup>	+12.7	+13.8	高崎高島屋	+5.1	+5.2
新宿店	+51.1	+16.8	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+12.4	+11.5
玉川店	+3.7	+1.5	法人事業	△4.8	
立川店	+7.0	+2.3	クロスメディア事業	△9.1	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高をそれぞれ含みます。

### 〔商品別売上高〕

		(前年比 単位:%)			
	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社			
衣料品	+8.1	+7.0	サービス	+2.2	+2.3
紳士服・洋品	+7.2	+6.7	その他	△3.6	△2.5
婦人服・洋品	+10.8	+9.6			
子供服・洋品	△9.6	△11.3	合計	+11.7	+10.8
その他衣料品	+0.2	+0.0			
身のまわり品	+39.8	+33.9			
家庭用品	+6.3	+5.8	食料品	+2.4	+2.5
家具	+8.7	+8.4	生鮮食品	△4.0	△4.0
家電	+24.6	+24.9	菓子	+11.4	+11.4
その他家庭用品	+3.1	+2.7	惣菜	△0.2	△0.2
			その他	+0.8	+1.0
			食堂・喫茶	+48.8	+50.7
			雑貨	+14.6	+15.2
			化粧品	+10.4	+10.6
			美術・宝飾品・貴金属	+19.7	+21.2
			その他	+9.6	+8.9

○6月度の店頭売上は、前年度の一部店舗における生活必需品売場を除いた休業の反動や外出機会の増加に加え、高額品が好調に推移したことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比 +12.4%	2019年比 △5.2%
免税売上	前年比 +73.1%	2019年比 △72.0%
免税を除いた店頭売上	前年比 +11.6%	2019年比 △0.3%

※前年度の店舗別休業日数（生活必需品売場を除く）：大阪店、堺店、京都店、泉北店、日本橋店、新宿店、玉川店、立川店 各6日間

○法人事業、クロスメディア事業は、前年実績を下回りました。

○7月の店頭売上は、14日までの累計で前年比+13.0%（2019年比△7.5%）、免税売上は前年比+109.1%（同△61.2%）、免税を除いた店頭売上は前年比+11.6%（同△3.9%）で推移しています。